指定管理施設モニタリング結果報告書

1　公の施設の概要について

施設の概要	名称	平戸市平戸オランダ商館1639年築造倉庫
	所在地	平戸市大久保町2477番地
	所管課	文化交流課
指定管理者	名称	公益財団法人　松浦史料博物館
	所在地	平戸市鏡川町12番地
	業務内容	・平戸オランダ商館の施設及び設備の維持管理 ・平戸オランダ商館の施設等の利用に供する業務 ・平戸オランダ商館の利用料金に関する業務
ホームページURL		https://hirado-shoukan.jp
指定期間		令和3年4月1日から令和7年3月31日まで

2　施設の利用状況等について

項目	令和2年度	令和3年度	年度	年度	年度
開館等日数（日）	308	362			
利用者数（人）	13,019	23,191			
前年度比（人）	29,213	13,019			
前年度比（%）	45%	178%			
利用料金（千円）	2,882	5,542			
前年度比（千円）	6,579	2,882			
前年度比（%）	44%	192%			

※その他、必要に応じて、施設の性格ごとに項目を追加する。

3　施設の収支状況について

単位：千円

項目		令和2年度	令和3年度	年度	年度	年度
収入	指定管理料	23,620	19,052			
	料金収入	2,882	5,542			
	自主事業収入	1,677	2,902			
	その他の収入	3,947	12,478			
	計	32,126	39,974			
支出	人件費	18,879	16,629			
	維持管理経費	2,772	2,581			
	自主事業経費	3,299	15,888			
	その他の経費	5,907	3,925			
	計	30,857	39,023			
収支（収入−支出）		1,269	951			

4　施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
今年度は、コロナによる感染対策の為、アンケートを実施していない。
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
商館入り口が分かり難いとのご意見に対し、入り口付近の看板をリニューアルし改善に努めている。
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
昨年に引き続きコロナで厳しい状況ではあったが、感染対策を徹底し、年度中4つの企画展『三浦按針展』・『釣りのある風景』・『Art Seeds Hirado 2021』・『ポルトガル貿易と南蛮スイーツ』、1つの催事『平戸の中のオランダを描こう』を開催し、多くの平戸市民、観光客に興味を持って観覧いただけた。 また、平戸市民に対しては例年通り平戸市民入館無料月間を設け、68名の利用があった。

5　経費削減のための取組

具体的な取り組み内容
電気料金、警備料について、それぞれ業者と交渉し料金を減額していただいた。 清掃作業は平戸市ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰに委託しているが、昨年のコロナ禍で清掃日を週3日から2日に減らし現在もその体制を継続し、また商館敷地内の除草作業については業者を利用せず商館スタッフで行うことにより経費削減に務めている。

6　指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価
今年も昨年に引き続きコロナ禍で厳しい状況ではあったが、予定通り企画展を開催することができた。 またホームページのリニューアルやSNSによる情報発信を強化することで、コロナ禍においても集客につながったと考えている。

7　所管課による総合評価（太枠にＳ～Ｂの３段階で評価を記入）

市民サービスの向上
新型コロナウイルス感染症の影響がある中で、企画展や催事を積極的に開催し、市民の郷土愛やコミュニティ意識を高めるために様々な取り組みを行っていた。
経費削減の取組
新型コロナウイルス感染症の影響により入館料が減少している中で、積極的に経費節減の取り組みを行っていた。今後も引き続き経費節減に努めていただきたい。
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価
来年度は、可能な範囲で利用者アンケートを実施して、利用者の意見や要望を管理業務へ反映していただきたい。

総合評価	A

※評価基準

Ｓ：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等より優れた指定管理業務を行っている。

Ａ：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。

Ｂ：モニタリングチェックシートにおいて、「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。